

第5回 最新技術活用調査研究委員会（H30年度第4回）

最新技術活用調査研究委員会

1. 予定

今回は、近年床版の取り替え工事などにおいて新しい損傷として話題となっているRC床版の水平ひびわれの対策工法と、現場管理手法における効果的な工夫に関する最新情報について紹介いただきます。

日時 2018年10月5日（金）13時30分～15時00分

場所 名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

① 13時30分～13時35分 委員長挨拶 岐阜大学 木下准教授

② 13時35分～14時15分（講演＋質疑応答）

テーマ1 床版水平ひび割れの補修方法 ～上面増厚床版剥離部補修システム～

株式会社 ケミカル工事 神田 利之様

③ 14時15分～14時55分（講演＋質疑応答）

テーマ2 現場管理手法における最新情報について

*透気試験、コンクリートの充填確認、Webカメラを用いた現場監視など

株式会社 計測リサーチコンサルタント 柏森 創様

④ 14時55分～15時00分 ご連絡事項等

⑤ 15時00分～16時00分 技術のデモ（教室の後部）

デモ予定：充填確認装置の閲覧、Webカメラの操作

*募集中（今回講演を行われない方もデモいただけます）

⑥同じ時間帯に教室の前部で幹事会を行います。

2. ご連絡等

① 議事録（案）

3. 次回予定等

第6回 2018年12月14日（金）

*次回以降に話題提供いただける技術の募集をしています。

【各工法のデモ】

当日、委員会終了～定期研究会の間の時間において、研究室の背面に講演いただいたがいらっしゃいますので、より詳細な情報が必要な方は自由にご質問ください。また、一部デモを行っていただくことも検討いただいています。是非、ご覧ください。

【ご紹介技術の概要】

テーマ1 RC床版水平ひび割れの補修方法 ～上面増厚床版剥離部補修システム～

近年、上面増厚工法により補修したRC床版と既設床版との境界部や主鉄筋付近において、水平ひびわれ（形態としては剥離と表現できる大規模なひびわれ）が発生していることが頻繁に報告されています。本損傷は、床版が上下に分離して床版の一体性が失われる形態であるため、床版の性能を大きく低下させています。

これまでは、補修工法としては床版上面からひびわれ内部を洗浄した上で充填することが行われていましたが、橋面からの施工であり交通規制を伴うため、社会的影響が大きいことが課題となっています。

『上面増厚床版剥離部補修システム』は、全ての作業を床版下面から実施し、水平剥離部内の洗浄と充填材を注入することにより、交通規制を不要といたしました。

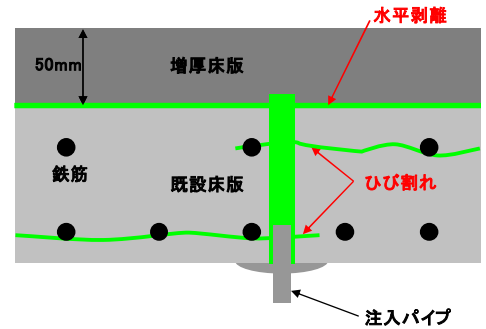
水平ひび割れ(増厚補強)



【参考】損傷イメージ



写真—1 洗浄状況

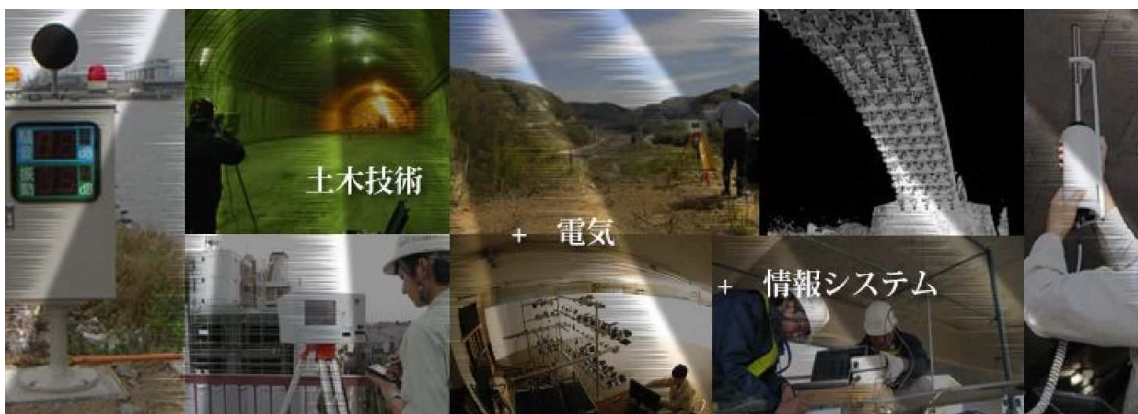


図—1 樹脂注入イメージ

(一財) 土木研究センター大田考二様ご講演資料より)

テーマ2 現場管理手法における最新情報について

株式会社 計測リサーチコンサルタントは、建設工事における安全・品質・コスト削減を長年にわたり現場計測で支援しており、現場計測情報をリアルタイムに施工に反映してきた信頼と実績があります。経験に基づいた知見と、タイムリーで的確な情報は、人間が意思決定するための重要な要因となります。弊社は、昭和47年の創業以来、皆様に最適な意思決定をしていただくために、計測技術情報とその有用なサービスを提供いたして参りました。急速に変化し続ける社会と、社会のニーズに対応しようと、研究開発型の企業として、数々の新しい技術展開を行って参りました結果、技術サービスの内容も幅広く蓄積いたしました。今回は、最新の情報をピックアップしてご紹介します。



図—技術イメージ